

卒業証書授与式

3月1日(日)

第43回卒業証書授与式が挙行され、今年度は237名(男子130名、女子107名)の卒業生が、多くの保護者の皆様に見守られながら太田一高を巣立っていきました。今年度は新型コロナウイルス対策で規模を縮小した式となりました。卒業生の皆さんについては、次のステージでの活躍を応援しています。



合格

サクラサク

令和2年度大学入試合格者数(現役・浪人含む)

4月6日現在・順不同

国公立大学 66名合格

東北大学 1名	筑波大学 1名	茨城大学 22名
宇都宮大学 1名	福島大学 14名	山形大学 2名
秋田大学 1名	岩手大学 1名	長野大学 5名

茨城県立医療大学 2名	諏訪東京理科大学 1名
前橋工科大学 1名	高崎経済大学 3名
山梨県立大 1名	新潟県立大 1名
秋田県立大学 4名	岩手県立大 2名
釧路公立大 1名	青森県立保健大 1名
宮城大学 1名	

私立大学 427名合格

早稲田大学 2名	明治大学 2名	青山学院大学 1名
日本大学 56名	東洋大学 6名	
駒澤大学 2名	専修大学 7名	その他

令和元年度 実用英語技能検定試験合格者

準1級	2名
2級	49名
準2級	100名

本校では英検合格に向けて、1次試験対策の課外や2次試験対策の個別指導を行っています。



先生からのメッセージ ~Messages from Teachers~

依然として感染拡大を続ける新型コロナウイルス感染症。しかし、嘆いているだけでは現状は変わりません。学べる無償のWEBサイトなどが次々と公開されています。今だからできること、ピンチをチャンスと考えてみてください。

【情報部長 佐藤茂】



PRINCIPAL'S SOLILOQUY

必要・必然・BEST

昨年、青龍6月号で全日本代表監督を務めた小久保裕紀氏の講演会から“必要・必然・BEST”の話を紹介しました。小久保氏は、ホームラン王や打点王にも輝いた超一流のプロ野球選手でした。話の骨子は「小久保氏でさえもスランプに陥り、苦悩した期間が何度かありました。観客から生卵を投げつけられたこともあり。スランプ脱出に喘いでいる時出会ったことが『必要・必然・BEST』です。どんな苦境も出来事も自分を成長させるために必要なもので、必然で、BESTなタイミングと形で神が与えることを知り、スランプを前向きに捉えられるようになり、その後脱出し栄光の道を駆け上がりました。」というものでした。

今、君達は未曾有のコロナ禍の中にいます。過日の私から生徒の皆さんへのメッセージの中でも言ったように冷静沈着に、すべてを現実として受け入れた上で、自分ができることすべきことを考えて行動してください。先生方は、君達からの質問や相談にはいつでも対応できる準備をしています。不安があれば即相談してください。“災い転じて福となす”を実現しましょう。今、君達が苦しい立場や逆境の中にいますが、乗り越えた後の成長を楽しみに頑張りたいと強く願っています。小久保裕紀選手のように。生徒諸君、どんな時でも、I'm game!という心意気を持ち行動してください。そして、GAMEを実践して行こう! G(元気に) A(明るく) M(前向きに)、そしてE(Enjoy楽しんで)ですね。



新年度スタート、そして附属中開校!!

令和2年度がスタートしました。新型コロナウイルス対策をしながら、年度始めの様々な行事が行われました。

始業式・新任式 4月6日(月)



附属中学校開校宣言・入学式 4月7日(火)



入学式に先立って、厳粛な雰囲気のもと附属中学校開校宣言が行われました。

令和2年度入学式では、全日課程178名、定時課程4名、附属中学生37名が入学を許可されました。



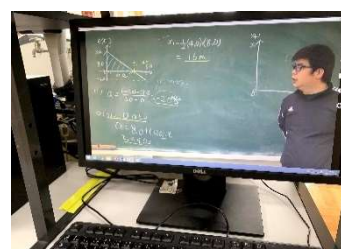
附属中学校 始動!

附属中第1期生が、希望を胸に学校生活を始めました。しかし、すぐに臨時休業に入ってしまったため、現在、生徒1人1台P.C端末を活用して、オンラインによる朝の会や授業を進めています。

※ オンライン朝の会の様子は、4月30日の茨城新聞に掲載されました。



臨時休業中の取組みについて



4月14日(火)より全県立学校が臨時休業となりました。本校では、臨時休業中の学習を保障するため、登校日の設定や動画配信、課題の郵送など、各年次、各教科で様々な取り組みを行っています。また、附属中学校では、Googleのアプリを使ったオンライン授業を進めています。